

ISOM'19 報告



ISOM'19 会場となった 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

ISOM は、1985 年にスタートした SOM (Symposium on Optical Memory) を母体に 1987 年から継続的に開催されている国際学会であり、2019 年は 10 月 20 日 (日) ~23 日 (水) の会期で、新潟市の朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターにおいて開催された。新しい領域への展開を反映して、一昨年から正式名称を International Symposium on Optical Memory (ISOM) から International Symposium on Image, Sensing, and Optical Memory (ISOM) に変更している。当協会は ISOM スタート時からのスポンサーであり、今年も共催団体として小谷副理事長以下関係者が出席した。

ISOM における研究発表分野は、従来の光メモリ技術からイメージング、センシングを含む幅広い領域に拡張され、各分野の研究者から最新の研究成果が紹介された。

今回の ISOM'19 の参加者数は 105 名であり、開催国の日本と、台湾、中国、韓国、米国、欧州からの参加があった。

ISOM'19 国別参加者数

日本	台湾	中国	韓国	米国	欧州	合計
92	5	5	1	1	1	105

応募論文件数は 53 件で、日本、台湾、中国に加えポーランドからも応募があった。招待講演、ポストデッドラインペーパーを含めた 76 件について、Poster Session、Post Deadline を含む 15 のセッションが行わ

れ、活発な討議が繰り広げられた。

Keynote として国立台湾師範大学の鄭 超仁 (Chau-Jern Cheng) 教授による “Learning-Based Pattern Classification with Digital Holography” と題する講演と、毎年恒例となっている特別招待講演としてアリゾナ大学の高島 譲準教授による “Imaging LIDARs by Digital Micromirror Device” と題する講演がそれぞれ行われた。

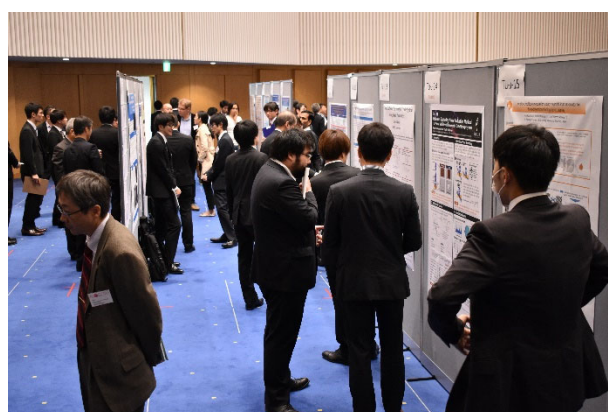
ISOM'19 国別応募論文数

日本	台湾	中国	欧州	合計
46	3	3	1	53

今後も ISOM は、光メモリ技術をコアとしながらも関連する幅広い技術領域における最新の研究成果発表、技術交流の場として、技術・研究の発展に貢献していくことが期待されている。次回の ISOM'20 (<https://isom.jp/PDF/ISOM20FCP.pdf>) は、高松市のサンポート高松において 2020 年 11 月 29 日 (日) ~12 月 2 日 (水) の会期で開催される予定である。



Oral Session



Poster Session



ISOM'19 参加者集合写真